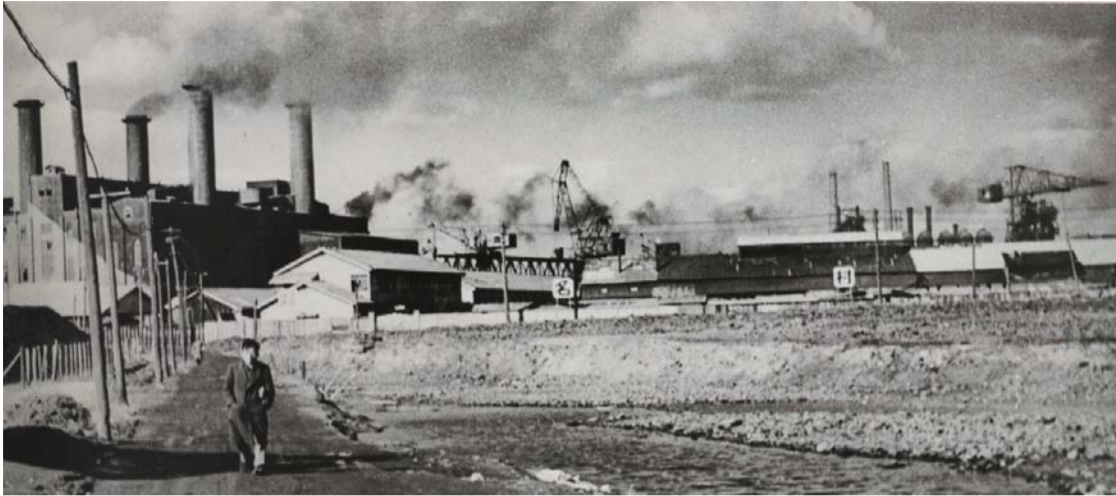


と お り
‘14地域のSTORY’

～ vol.5 加賀屋～次の世代にまちを引き継ぐ～

これまでも。これからも。



昭和26年頃の名村造船所大阪工場周辺の様子(名村造船所百年史より)

区の北東部に位置する加賀屋地域は、江戸時代の新田開発によりひらかれた一帯で、明治から大正にかけては敷津浦村と呼ばれる農村地帯でした。大正から昭和にかけて、造船業などの重工業が進展し、大規模な造船所や関連した工場で働く人々が集まり、たいへん栄えてきました。1945年の空襲で加賀屋小学校(当時は国民学校)の校舎が半焼する被害を受けましたが、戦後の復興に伴う人口増加に伴い、分校であった住吉川小学校が1953年に独立、同じく分校であった加賀屋東小学校が1972年に独立し、北加賀屋1～5丁目、緑木1丁目、柴谷1丁目が通学区域の加賀屋小学校校下地域となりました。

現在、木津川沿いには、名村造船所跡があり、クリエイティブセンター大阪として活用され、近隣を含めアート活動等が行われているなど、往時の面影を残しながら今の時代へと変容を遂げています。

インタビュー

昭和46年
松崎会長18歳
妹さんと一緒に加賀屋大宮宮にてさざんか
加賀屋協議会
松崎会長

一会長の子も時代はどんなだった？

三角ベースに熱中した少年時代

加賀屋小学校の横はキャベツ畑だった(笑)。広場がそこらじゅうにあって、毎日学校が終わったら三角ベースやって、帰りに仲宗根のホルモン(お店は今もあるそうです)を食べて家に帰る、そんな毎日だった。あの頃の子どもはみんなそう

(笑)。今みたいにゲームなんかもないから、外でめいっぱい遊んだ。近所のおっちゃん、おばちゃんが気にかけてくれた。一今、改めて育ったまち加賀屋に感じる思いは？

風景は変わっても下町の人情はそのまま

昔は横に市電が走っていて、その西側は池と葦の原で、その向こうは造船所群があって。通勤する人の流れは今の心齋橋あたり以上だった。それがなくなったのは淋しい感じがするけれど、地域の人情は少しも変わらない。子どもを大事にして、お年寄りに尊敬の気持ちをもって接して、いわば下町の親しみやすさは全く変わらないままのまちだと思う。

昔からのまちづくりを今に継承

昔はお祭りと学校を中心にしたまちづくりだった。今、地域活動協議会ができた

けれど、皆さん理解を持って、昔からのまちづくりを継承しながら取り組んでくださっていると思う。器は変わっても中身は変わらない。おっちゃんもおばちゃんもそのままやねん(笑)。新しく移って来られた若い人も溶け込んで参加してくれている。

若い人たちが参加できる環境づくりを

これから、もっと若い人に積極的に地域活動に参加していただけるような、そういった活動をしていかなければいけないと思う。子ども会の喜多会長らががんばってくれていて、参加人数が増えている。おっちゃんやおばちゃんには今までどおり活躍してもらおうけど、少し距離のある若い方たちにも参加してもらえよう取組みがより一層大事になってくると思う。地域活動協議会の取組みには市

の補助金を活用できるわけだから、地域の活性化やきずなづくりに活かすものにはないといけない。若い人にまちを引き継ぐ、そんな気持ちでやっている。

子ども会サマーキャンプのプール遊び
(赤いTシャツが子ども会会長の喜多さん。LINEを活用して保護者に対して丁寧なコミュニケーションを心がけているそう。)

防犯活動のご紹介

見守ります!!

各地域活動協議会では、地域の安全を守り、住民の皆さまが安心して暮らせるように、防犯活動に日夜取り組んでいます。今回は、各地活協で実施している防犯活動の一部をご紹介します。

子ども見守り活動

登下校も!

地域の子もたちが、安全に登下校できるよう通学時間帯に通学路の見守りを行っています。

地域・学校などが協力して、子どもたちが痛ましい事件に巻き込まれないように日々活動を続けています。

子ども見守り活動をしている方を見かけたら、元気にあいさつをしてください。

青色防犯パトロール

青色のランプをつけたパトカーを見かけたことはありませんか？

実は、地域の方々がひたくりや子どもたちへの声かけ事案の増加を受けて、事件を未然に防止するために、地域と警察が協力して活動しています。



地域のパトカーでも!

夜間定例巡視

夜も地域の見守り活動が行われています。子どもたちが夜遅くまで出歩かないように声かけを行ったり、迷惑行為の防止に取り組んだり、何か地域内で異常がないか見回っています。

夜の人通りが少ない時間帯だからこそ、地域の方々が定期的に巡回することによって、地域の安全が守られているわけですね!

人通りが少ない時も!



歳末夜警

寒い中も!

年末も地域の見守りは続いています。寒くなり、火を使う機会が増えている時期だからこそ、火災に気を付ける啓発(火災予防)のために見回りをしておられます。

新年を地域の皆さんが笑顔で迎えられるよう、年の瀬も休まず、地域のために見回り活動をつづけておられます。



【問合せ】住之江区まちづくりセンター
☎6654-5017

地域の行事など各地域活動協議会のことはこちら→



地活協とは 地域活動協議会の略称です。全住民・事業所等が地域を支える新しい地域活動の仕組みです。各地活協はおおむねそれぞれの小学校区で活動を行っています。